

## 但馬朝来郡産スミレ属補遺

福 田 菊 市

筆者は、さきに、本属について本誌 (Vol. 3, No. 3号) に22種を発表したが、その後調査の結果、追加すべきもの7種を得たので報告します。

*Viola obtusa* MAKINO

ニオイタチツボスミレ

山地向陽性、葉は卵形心脚、浅緑色、茎、葉柄、花梗等に粉状の細毛密生、花は淡紅紫色、側弁無毛、タチツボスミレに比して、花は紅色が稍強い。花期も遅く、5月上旬～中旬、全体がやや小形である。花に芳香がある。

*V. obtusa* MAKINO var. *glabra* NAKAI

ケナンニオイタチツボスミレ

前種の無毛品で、他は余り変らない。

*V. mandshurica* W. BECK.

シロバナスミレ

人家の近くの石垣、あるいは原野性、全株無毛、葉は長三角状、深緑色、葉柄に小翼有、花は白色、紫条有、側弁有毛、距はスミレに比して短太い。花期は4月中旬頃、朝来郡ではあまり多くないもの。

*V. Ikedaana* W. BECK.

ホコバスミレ

本種については「兵庫生物」Vol.3, No.3. p.118に三木順一氏がくわしく報告されている。本種はケスミレの山地上部型?、向陽の山地草原帯に多い。

*V. grypoceras* var. *pubescens* NAKAI

ケタチツボスミレ

山地向陽性、花は紅紫色、側弁無毛、葉の両面有毛、葉柄、花梗にも白毛密生する。花期は4月。

*V. hirtipes* S. MOORE

サクラスミレ

山地向陽性、花期は遅く、5月上旬～中旬、花は紅紫色、頗る大形で恐らく本属中最大と思われる。側弁著しく有毛、全株無毛、稀に葉柄基部に長粗毛を有するものを見る。葉は狭長卵形、浅心脚、長柄、稍軟質、鈍齒縁、花期の葉は1～3葉以内で直立する。本郡の珍稀種で、採集地の自生範囲もごく狭い。但馬と播磨の境、三國峠で採集。

*V. Ogawai* NAKAI

カツラギスミレ

全株無毛、葉は略三角状、菊の葉の如く不斉深裂する。表面深緑色、下面帯紫色、稍厚質、花は淡紅紫色、濃紫色条有、側弁無毛、距は短円筒形、花期は4月中旬～5月上旬、山地上部の向陽地に自生する。本種は花の色、及び側弁無毛なる点より見て、シハイスミレとナンザンスミレの雑種と思われる。シハイスミレに近似のものである。筆者は船越山の尾根で数株を見た。本郡では段ヶ峯で姫路西校の安平君が採集。なお本種に就いては、福崎町の三木順一氏に種々ご教示頂いた事を付記しておきます。